

宇宙通信に関する研究開発の現状と国としての戦略について

(総合科学技術会議情報通信プロジェクトチーム会合 2003.2.10)

塩見 正 (通信総合研究所CRL)

概要

1 宇宙通信をとらえる視点

- ・宇宙開発 / 宇宙利用システムの中で広く柔軟に把握
- ・インターネット時代の通信・放送のインフラ
 高速化、柔軟性、多様サービス、グローバルサービス
- ・宇宙開発や宇宙システムのインフラ
 地球観測や情報収集、宇宙科学・宇宙実験、データ中継
- ・社会インフラ
 測位や時刻サービス、防災・非常時、ナショナルセキュリティ
- ・産業規模は小さいが、ナショナルセキュリティ上重要
 高度技術・総合技術と大規模なR & Dインフラ・技術基盤
 民間のみに期待できないハイリスク性、大きくない市場

2 宇宙通信に関する研究開発の現状

- ・国際的にみた主要トレンド
- ・日本における主要な研究開発プロジェクト

3 宇宙通信研究開発についての課題

- ・先導要素技術とシステム技術
- ・選択と集中(日本の競争力)
- ・先導的な研究開発プログラム

4 国としての戦略的な視点と役割

- ・広い意味でのナショナルセキュリティ
 社会インフラ、防災・非常時システム、技術セキュリティ
- ・選択と集中による先導プログラム
- ・技術開発と実証のプラットフォーム
- ・資金が集まる仕組み
- ・国際共同のリード
- ・人材プログラム(グローバルで長期的な観点)
- ・総合性・横断性 (縦割りの弊害を排す)